



おくすり通信

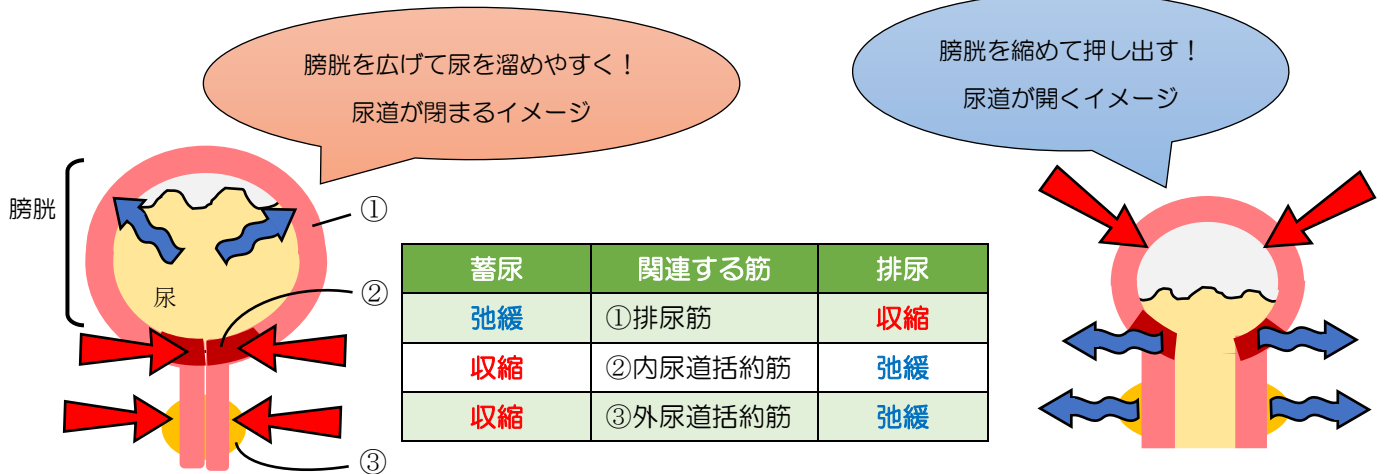
No. 44 泌尿器～排尿の仕組みと症状～

こんにちは、薬剤科です。今回から泌尿器に関するお薬をご紹介します。まずは導入として、排尿の仕組みやそれらに関する症状についてご紹介します。

《蓄尿と排尿》

腎臓で生成された尿が膀胱に蓄えられることを**蓄尿**といい、尿が一定量に達し尿道を通じて体外へ排出されることを**排尿**といいます。蓄尿・排尿は膀胱の筋肉の収縮・弛緩によって行われています。

筋肉の収縮の仕組みとしては、**交感神経が刺激されると括約筋が収縮され蓄尿へ**、**副交感神経が刺激されると排尿筋が収縮され排尿**となります。



《症状と薬》

膀胱、尿道の障害によって生じる蓄尿・排尿機能障害をまとめて**下部尿路障害**といいます。この下部尿路障害が原因で生じる症状を**下部尿路症状**といい、**蓄尿症状**、**排尿症状**、**排尿後症状**に分けられます。

これらの症状

蓄尿症状	排尿症状	排尿後症状
<ul style="list-style-type: none"> ● 頻尿 ● 尿意切迫感 ● 夜間頻尿 など <p>おしっこが 我慢できない、、、!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 尿勢低下 ● 腹圧排尿 など <p>おしっこが出ない、、、!</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 残尿感 ● 排尿後滴下 <p>すっきりしない、、、!</p>

治療薬に関しましては以下の通りとなります。

◇ **蓄尿機能障害**・・・トビエース（フェテゾ）、ベシケア（シリフェソ）、ウリトス（イダフェソ）など

◇ **排尿機能障害**・・・フリバス（ナトピゾル）、ユリーフ（ソドソ）、ハルナール（タムロソ）など

次回から詳しくご紹介します。

そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。